

8月2週目掲示板の言葉です。

逝った人との、生前はどうしても断ち切れなかったさまざまのこだわりが、時の移ろいとともになんげつほぐれてくる。

じかに向き合っていたときには解けなかった確執も少しずつ削ぎ落とされ、その人のいい面だけが残る。

そういうかたちで亡き人のイメージが整ってくると、遺された人の心も安らぐ。  
京都・法然院の梶田真章からうかがった前貫主の言葉。

『朝日新聞』（折々の言葉 鷲田清一）

（言葉のチョイス）「なまくら坊主」